



『生きていくことわざ』

船橋市議会議員

神田 廣栄 (かんだひろえい) 議会報告

【事務所】 船橋市前原西 8-24-8 ☎490-3333 FAX 465-7117

Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www.hiroei.jp>

後顧(こうこ)の憂(うれ)い。金科玉条(きんこぎょくじょう)

【後顧の憂い】 ◇後に残る心配や気掛かりのこと。

【金科玉条】 ◇極めて大切な、絶対に守らなければならない規則やおきて。

・「科」「条」は法律のこと。「金」や「玉」は重要なもの。

比較的暖かった冬から、大地に新しい息吹が感じられる3月になりました。今月29日は千葉県知事選挙の投票日です。パフォーマンスの得意な人ではなく、真剣に千葉県のために考えてくれる人を選びましょう。

ところで、主要7ヶ国財務相・中央銀行総裁会議(G7)の終わった後、記者会見で全世界に醜態をさらした中川財務大臣は論外ですが、私は同席した白川日本銀行総裁や同行した財務省事務方の役人にも多大な責任があると思っています。



発する言葉や態度から十分にその危険性があったにもかかわらず、世界に発信する記者会見の場に大臣を出したからです。多分遠慮がちに忠告し「うるさい」と一喝され黙ってしまっただろうと推測はできます。たとえ「飛ばすぞ」と脅かされても、日本国家と本人のために体を張ってでもあの記者会見は阻止すべきでした。そんな「サムライ精神」を持った人が少なくなってきました。

今、船橋市議会は3月議会の真っ只中です。私は「サムライ精神」を持って議会に臨んでいます。今号は12月議会の質問から抜粋しました。

①不正受給者を徹底的に調査する「給付金調査班」の設置を

生活保護費等の福祉関連給付金の受給者で、不正に受給している人がいると、よく耳にします。年間で100億円を超える生活保護給付金ですが、担当するケースワーカーや査察指導員、担当課の調査には限界があります。「給付金調査班」を設置し徹底的に調査すれば、その報酬を支払ってもおつりがくると確信します。又、不正を働く人もいなくなるのではないのでしょうか。税金の無駄遣いと『後顧の憂い』を無くしましょう。



— 福祉サービス部長の答弁 —

現状の職員体制の中で、ケースワーカーと査察指導員の体制強化を図り、保護法に規定する「収入申告の徹底」「関係先への調査」と指導・指示等、適正な実施に取り組みたい。

「給付金調査班」の設置は、他の福祉事務所の状況等について調査していきたい。

②市営住宅入居者を公平に

一度市営住宅に入居すると、その子供、孫の代まで入居できると聞きます。これは建設省住宅局長通達の「同居承認及び入居継承承認について」に基づく、3親等までの入居名義人の限度と、それに基づく同居親族の継承ができるということによるものだそうです。この通達は『金科玉条』に程遠い、あまりにも甘すぎるのではないのでしょうか。



公平性の観点と努力義務を課すことから、契約年数の限定をして、期限がきたら入居者にも抽選の義務を課すとか、3親等をもっと短くするとか、新築や空き部屋のみでの現在の抽選方法ではない思い切った方法をとるべきと提案します。

— 建築部長の答弁 —

市営住宅の明け渡しは、不正行為によって入居した時、家賃を3ヶ月以上滞納した時、施設を故意に壊した時等7項目あります。

国土交通省より平成17年12月26日付けで、入居継承に係る厳格化のガイドラインが通知され、入居継承が認められる者は「同居者である配偶者及び高齢者、障害者等で、特に入居の安定を図る必要のある者」との運用指針の改正が行われました。船橋市ではこの運用指針に基づき平成21年4月1日から新基準を実施します。現在の入居者には平成20年12月5日付けで、入居継承制度の見直し通知を配布しています。これからも市営住宅の入居の厳格化に努めてまいります。

③「敬老のお祝い金」の見直しを

長寿は大変おめでたいことですが、団塊世代から後、生産年齢人口減少による税収の落ち込みや、ますます高齢者人口が増えていきます。高齢者が増え平均寿命が延伸すれば、介護等の高齢者福祉に要する費用も当然増えていきます。

そのような状況が確実に迫りくる今、限られている財源の中で、年齢により一律に給付している高齢者への「敬老のお祝い金」の見直しは避けて通れないのではないのでしょうか。



— 福祉サービス部長の答弁 —

今後高齢者が増加し、福祉ニーズが増大かつ多様化していく中、持続可能な制度が求められます。「敬老祝い金」を含めて「敬老事業」等の方向性や在り方等について「高齢者福祉サービス等検討委員会」を設置し、課題の分析・検討をしているところです。議員の貴重なご意見は当委員会に報告し検討してまいります。

藤代市長が4選に出馬表明されました。当選の暁には私が12月議会で述べた「税金を食べ物にする人間、不正を働く人間を徹底的に追及し、弱い立場の人や困窮している人を一人でも多く救済できる施策を 恐れず・ひるまず 実践されること」を強く要望します。

